

福岡県看護協会 事業継続計画（BCP）の策定について

公益社団法人 福岡県看護協会

1 事業継続計画（BCP(Business Continuity Plan)）策定にかかる基本的考え

福岡県看護協会は、新型インフルエンザ等対策業務計画を策定し、感染症拡大時の対応を定めていたが、地震、水害その他大規模災害等が発生した際の業務計画は未策定であったため、これら災害を想定した計画を加えてBCPを策定した。

2 基本方針

- (1) 人命を最優先に行動する。
- (2) 資産を保護し本会運営の早期復旧と事業継続を図る。
- (3) 可能な範囲で、地域社会貢献を図る。

3 危機管理体制等

(1) 組織体制について

感染症拡大、感染症拡大以外の自然災害等の際で、それぞれの特性に応じた組織体制（災害対策本部）を設置する。

(2) 職員の参集について

平日時間外・休館日において、震度6弱以上又は甚大な災害が発生し、危機管理対策本部長（会長）から要請があった場合に参集する。

第一次参集者は、総務課長及び総務・施設管理係全職員（臨時職員除く）とし、身の安全を確保したうえ、交通状況や通勤経路等の状況を確認して参集する。

4 各部署における業務の継続等について

(1) 新たに発生する業務

- ・ 災害・新型インフルエンザ等に関する情報収集・情報発信
- ・ 役員・職員及びその家族の被災状況・感染状況の把握
- ・ 受講者の被災状況・感染状況の把握
- ・ 実習先への連絡・調整
- ・ 研修・相談業務（ナースセンター等）の調整
- ・ 災害支援ナース派遣調整業務

(2) 継続業務

- ・ 庶務事務、施設管理事務
- ・ 会員管理・会員サービス・会費収納等
- ・ 給与・経理事務、労務手続き
- ・ 非対面式相談業務（Web等の活用）等

(3) 縮小業務

- ・ 研修等運営業務 Web 活用の検討
- ・ 理事会、総会、監事監査 等

(4) 休止業務

- ・ 委員会、研修会、学会
- ・ 機関紙の発行
- ・ 会議室等の貸与 等

5 非常食の備蓄等について

- (1) 非常食の備蓄は 150 食分(50 名×3 日分)とする。保存期間は概ね 5 年間。
- (2) 防災備蓄品・生活用品は、通常業務で使用する保有在庫及び災害支援ナース用の保有在庫を一部並行して活用する。

6 BCP 施行時期：令和 4 年 11 月 1 日